

— フルーテン —



ゲームのルール

このフルーツいっぱい、カラフルなゲームで、10までのたし算やひき算がすぐに出来るようになります。

セット内容

- ・「フルー10」カード 35枚
(裏が青色)
- ・「フルー10」カード 15枚
(裏が黄色)
- ・ルール説明(英語)

動画(英語)での説明は

www.thebrainyband.com

プレイヤー: 2~5人
年齢: 6歳以上、9歳以上
時間: 10~15分

ゲームの目的

フルーツカードをたくさん集めましょう! 2枚のカードから10になるフルーツを探して叫び、カードを取りましょう!

勝利条件: カードをたくさん集めた人が勝ちです。

基本バージョン(7歳以上)

用意: 裏が青のカードをシャッフルして、一人1枚引き、自分の前に裏返して置きます。残りのカードは裏向きで山にして中央に置き、1番上の1枚だけ表にします。

遊び方: 「せーの!」の掛け声で、プレイヤーは自分のカードを開きます。そして、自分のカードと山のカードで、合わせて10になるフルーツを探します。

2枚のカードから2つまたは、3つのフルーツで10にする必要があるかもしれません。1枚のカードから1つのフルーツ、もう1枚のカードから1つのフルーツでもいいです。1枚のカードから2つのフルーツ、もう1枚のカードから1つのフルーツ、などなど。(ただし、カードは必ず2枚使わなければなりません。1枚のカードの中だけで10にするのはダメです。)

2枚のカードのフルーツは同じタイプ(例えば、2つのバナナ、3つのいちご、など。)または、同じ色(例えば、2つの緑のフルーツ、3つの青いフルーツ、など)でなければなりません。出来るだけ早く10になるフルーツを探し、フルーツのタイプか色を言います。

例えば、同じタイプのフルーツで10を作った時には、「いちご10!」や「梨10!」などと言います。同じ色のフルーツで10を作った時には、「緑10!」「赤10!」などと言います。

足すと10になるものを言えた時には、山の方のカードをもらい、それを自分のカードの上におきます。

山の一番上のカードを表にして2回戦を始めます。

カードの山が全てなくなるまで続けます。

用意



遊び方

パイナップル
10!

赤10!

